

# 大学での軍事研究に警鐘

九条の会 岐阜大・新村教授が講演



新村教授と議論する参加者たち＝岐阜市美江寺町で

岐阜・九条の会の例会が十六日、岐阜市美江寺町の岐阜合同法律事務所で開催され、岐阜大工学部の新村昌治教授（み）が市民ら約二十人と大学での軍事研究をテーマに話し合った。

防衛省は二〇一五年の制度概要の説明資料

などを示し「失敗する可能性のある研究を大学などにやらせ、うまくいったものは防衛省が実際に使えるところまで持っていくというスタンス」と批判。外部資金に頼らざるを得ない研究者の現状に触れつつ「軍事研究費に依存してしまつリスク

をしつかり認識する必要がある」と警鐘を鳴らした。参加者からは「研究したデータも全て国に提供しなくてはならないのか」「大学の自治が失われているのも大きな問題」などの意見が出た。

(兼村優希)